

様式第1号 (第4条関係)

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書

令和6年 5月 2日

(あて先)

さいたま市長 殿

所在地

団体名

さいたまふたご・みつごサークル
Peanuts CLUB

代表者氏名 花俣 美加

下記により、令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金（一般助成事業・団体希望助成事業）の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- | | | | |
|------------|---|---------|---|
| 1 助成金交付申請額 | 金 | 498,360 | 円 |
| 2 事業計画書 | | | |
| 3 事業収支予算書 | | | |
| 4 団体概要 | | | |
| 5 添付書類 | | | |



事業計画書

団体名	さいたま ふたご・みつごサークルPeanutsCLUB
-----	-----------------------------

* 事業の概要	
事業の名称	*この事業は、何という名前ですか？ 妊娠期からの多胎ファミリー教室
事業の分野とその概要	*この事業の分野は、どのような分野ですか？ ☐ (四角) に ☒ (チェック) を入れてください。 また、この事業を文章で短く言い表すと、どのようになりますか？ (100字程度) 事業の分野 ☒ 保健・医療・福祉 ☐ 社会教育 ☐ まちづくり ☐ 観光 ☐ 農村漁村 ☐ 学術・文化・芸術・スポーツ ☐ 環境 ☐ 災害救援 ☐ 地域安全 ☐ 人権・平和 ☐ 国際協力 ☐ 男女共同参画 ☒ 子ども ☐ 情報化社会 ☐ 科学技術 ☐ 経済活動 ☐ 職業・雇用 ☐ 消費者保護 ☐ その他 () ふたご、みつご以上の多胎を妊娠中のママ、パパ、祖父母を対象とした両親学級を開催。単胎とは違う多胎ならではの妊娠・出産・育児について専門家からの基礎知識、先輩パピママ体験談、保健師からの母子保健の紹介などを行う。(多胎とは、ふたご、みつご、よつごなど同時に複数の子どもを妊娠することを言います。ふたご・みつご等の総称としても使っています。)
協働を希望する担当	*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？ さいたま市保健福祉局 保健所 地域保健支援課
マッチングファンドの申請回数(前回の結果)	*マッチングファンドの申請は何回目ですか。回数をお答えください。 また、過去にマッチングファンドの利用実績がある場合は、前回の助成事業の振り返り(効果・成果)を記入してください。 2 回目(前回助成を受けた年度：令和5年度) 開催時期：8月(終了)、2月(準備中) 計2回開催 参加家庭：10組(市内6組、市外4組、会場参加7組、オンライン3組)、キャンセル2組 当団体が自主事業で実施した前回より3組増加し、過去で最も多い参加数となった。体調不良のためキャンセルが2組あった。会場、オンライン双方の参加者から大変満足という感想を頂いた。また、開催後も参加者から「安心して出産、育児をすることができています。」という声も届いています。 今後の課題として、多胎妊娠は安定期が無く外出が難しいため、体調不良や長期の管理入院中の方、遠方の方へ向けたオンライン開催の必要性を強く感じました。
対象者	*この事業は、誰を主な対象に実施しますか？ ふたご、みつご以上の多胎児を妊娠中のママとそのご家族全員(パパ、祖父等)を対象とする。
実施期間	*この事業は、いつからいつまでに実施しますか？ 令和 6 年 5 月 ~ 令和 7 年 3 月
総事業費	*この事業は、いくら資金が必要ですか？(そのうち助成金はいくらですか？) 531,060 円 (助成金交付申請額 498,360 円)
事業のテーマ	*市が募集するテーマに限り、この事業のテーマを記入します。

団体名	さいたま ふたご・みつごサークルPeanutsCLUB
-----	-----------------------------

1	現状における課題と事業の目的
*この事業は、何を課題としてとらえましたか？（課題：地域や市民等にある解決が必要な事柄） 現在、さいたま市で多胎を妊娠、出産した場合、母親及び家族が妊娠期に事前の準備や心構えが十分にできない事が課題と考えています。多胎の出産は100人に1人確率で、さいたま市では年間約100人が多胎を出産します。単胎と異なる部分が多いため、妊娠～育児に対するイメージができず、不安・孤独な妊娠出産育児をする家庭が殆どです。令和3年12月から開始した当事業は、地域の多胎家庭に対する理解不足とこの事業の認知の低さから参加者が少ない事も課題の1つと考え、令和5年度はマッチングファンド助成に力添え頂き開催しました。（現段階で2回中1回開催）【参加家庭10組（市内6組、市外4組、会場参加7組、オンライン3組）キャンセル2組】今年度は前年度と比較し3組増加し、過去で最も多い参加者となりました。また、市外の参加も増え、体調面や遠方家庭の対策として会場開催と同時にオンライン配信をしました。オンライン参加者の感想として、「とても良かった」という感想が多かったことから、次年度は会場とオンラインの同時開催の他に、オンラインだけの開催を1回増やし、参加者の増加を目指したいと考えます。 *この課題に対し、行政（国、県、市）が実施している施策をどう考えましたか？ 行政で行なう「母親（両親）学級」は、主に単胎妊娠向けであり、多胎妊娠には参考にならない事が多いため、多胎妊娠向けの両親学級が必要と考えます。また、行政主催の多胎家庭へ向けた事業として、各区に「多胎の集い」がありますが、年2回程度の開催で、当事者のみの集いのため、外出困難な家庭にとっては参加しにくく、たまにしか参加できないため友達も作りにくいと考えます。また、育児が大変すぎて悩みを言葉にすることができない方が多く、当事者だけでは先の見通しがつきにくい、傾聴や多胎の基礎知識、多胎家庭の悩みの経過について学び、地域で利用できる支援情報や利用した感想などを伝える事ができる多胎家庭で構成する当団体を参画して頂きたいと切に願います。多胎育児経験者が行政保健師と協働し繋ぎ役となることで多胎の悩みに寄り添い、早期の対処が可能となります。 *この事業は、何を目的に設定しましたか？ （目的：課題に対応して何をを目指すのか。課題が解決したときの、地域や市民等が得られる理想の姿。） 多胎に関する正しい知識や情報、同じ経験をした多胎家庭との繋がりを得ることで、不安・孤立・外出困難・産後鬱・虐待などの問題を抱える多胎家庭の減少を図ること。 多胎家庭や専門家と繋がることで、育児の工夫や支援情報、相談先を得ることができる。また、地域の先輩多胎ママパパがロールモデルとなることで育児のイメージがわき、多胎育児に希望が持てる。そして、地域と関わりながら楽しく育児ができ、子供達の健やかな成長に繋がる。	

2	事業の具体的な内容
*この事業は、どんな手段で課題を解決しますか？（いつ、どこで、だれが・だれに、なにを、どうするの視点で） ※目的を達成するための事業が複数ある場合には、事業②の欄を追加（挿入）してください。	
事業①の事業名	「妊娠期からの多胎ファミリー教室」
いつ（ころ）	7月（会場+オンライン）、10月（オンライン）、2月（会場+オンライン）
どこで	【会場+オンライン開催】日本赤十字看護大学さいたま看護学部大宮キャンパスホール内、浦和コミュニティセンター 【オンライン開催】各自自宅よりZOOMを使ったオンライン開催
だれが（主体） だれに（対象）	（主体） 当団体及びイベントへ参加する他団体、さいたま市保健福祉局 保健所 地域保健支援課 （対象） 多胎を妊娠中のママ、パパ、祖父母等
なにを	多胎妊娠中に専門家（助産師、保健師）及び多胎育児経験者による情報提供を行う教室

どうする	①対面（同時にオンライン配信）開催 ×2回 ・令和5年度同様、上記会場を利用する。 （多胎出産は、設備の整った周産期センターのある病院で出産する事が多い。そのため、さいたま赤十字病院を利用するご家庭も多く、安定期がなく重い悪阻など体調に不安を感じている妊婦が多いことから、専門家と直接繋がりのある会場を利用する事で安心感がある。また、看護大学が隣接していることから他の先生方も参加し相談に応じて下さる事もある。） ・ZOOMを使い会場内の講義や様子をオンラインで配信する。 （オンライン専用スタッフによる個別質問対応や会場内の様子、便利グッズの紹介も配信する。） ・プログラム内容 （・専門家から多胎妊娠出産育児の基礎知識・複数名の多胎家庭の体験談・保健師から母子保健内容の紹介・初産婦、経産婦、パパ同士情報交換・便利グッズや民間支援情報の紹介・授乳やパパの妊婦ジャケット体験） ②オンラインのみ開催×1回 ・ZOOMを使いオンラインで開催する。 ・講師、スタッフ、参加者は各自の自宅、病院などから参加する。 ・プログラム内容 （・専門家から多胎妊娠出産育児の基礎知識・多胎家庭の体験談・保健師から母子保健内容の紹介・ブレイクアウトルームを使い初産婦、経産婦、パパ同士情報交換・便利グッズや民間支援情報の紹介） ①、②のプログラム内容の目的 ・妊娠中に情報を得ることで、準備や心構えが可能となる。・妊娠や出産リスクについて正しい知識を得ることができる。・家族で参加することで相互理解が深まり具体的なサポートがわかる。・地域の専門家や当事者と繋がる事で安心感を得ることができる。・妊娠期から利用できる社会サービスの内容と利用方法、利用者の感想がわかる。・複数の赤ちゃんを同時に授乳する体験を通して、より生活のイメージができる。
-------------	--

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	さいたま ふたご・みつごサークルPeanutsCLUB
-----	-----------------------------

3 事業により期待できる成果・効果

*この事業が、直接的に達成できることは何ですか？また、その達成できたことによって、地域や市民にどんな良い影響がありますか？
（団体、市、参加者など事業に携わるすべての人に波及する成果、効果を書いてください。）

・ファミリー教室を開催する事で、以下の効果があり、多胎妊娠・出産・育児に対する適切な理解と準備や心構えができ、早期的な対処に繋がります。

・さいたま市内で活動する当団体の同じ多胎をもつ家庭（ピアサポーター）と交流する事で、参加者が事業後も引き続き繋がり、子供の月齢・性別などに応じた悩み相談、地域で利用できる支援や感想、使い方を伝えたり、育児の工夫や情報交換、友達作りなどのサポートが可能。母親の孤立や産後鬱による多胎児への虐待などを減らすことができる。

・地域保健師と繋がることで、困りごとや悩みごとがすぐに相談できる。また、当団体と保健師が協働し、ピアサポーターが様々な悩みを持つ家庭の悩みに寄り添い、保健師との繋ぎ役となり保健師が多胎家庭の悩みを知ることで保健センターが支援の必要な家庭を早期に把握し、素早い対処ができる。

・子供が成長し手が離れてきた多胎家庭が、更に同じように新たな多胎家庭をサポートすることで、地域全体で多胎家庭を支援する流れができる。

・市の周知力を活かすことで、市民に多胎家庭が持つ問題を理解してもらいきっかけとなり、参加者増加や地域全体で支えあう事を期待します。

4 この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性

*この課題に関連して、団体が今までに取り組んできたことはどんなことですか？

当団体は、2010年から、さいたま市を中心に情報交換、悩み相談、友達作りを目的として多胎家庭が集うサークル活動を行ってきました。孤立しがちな多胎家庭に対して、育児にかかわる思いを共有し、支え合ってきました。多胎家庭に寄り添う中で見えてきた多くの問題は当事者同士では解決できない事が殆どであることや、悩みが10年以上変わっていない事に大きな問題を感じました。その経緯から一般社団法人日本多胎支援協会や大学教授に協力を頂き、妊娠中に事前の心構えや準備ができる「妊娠期からの多胎ファミリー教室」を令和3年12月から開催し、令和5年度はマッチングファンドに採択頂き開催しました。当団体の主な活動は以下の通りです。

【2010年～ ※主に多胎家庭の集いの場を提供】

1、多胎サークル（毎月1回）

実施内容：友達作り、情報交換、悩み相談など

2、オンライン相談会（毎月1回）

実施内容：友達作り、情報交換、悩み相談など

※妊娠中・生後すぐ・管理入院中・遠方などの理由で移動困難なご家庭が主に参加されました。

3、その他、クリスマス、ハロウィン、公園遊び、お下がり交換会などのイベントも開催

【2021年12月～】

4、「妊娠期からの多胎ファミリー教室」を開催

実施内容：妊娠出産の基礎知識（日本赤十字看護大学教授）、先輩多胎パパママの体験談、母子保健サービスの紹介（保健師）、育児の便利グッズの紹介など

※令和5年度はマッチングファンド助成を頂き開催しています。

*この課題に関連して、団体がもつ強みや生かせるノウハウはどんなことですか？

さいたま市で10年以上多胎サークル活動をする中で、同じ多胎家庭でも一人一人違う多くの方の悩みを聞きました。その悩みを分類する事で、月齢、成長、性別、家庭環境、それから地域ならではの悩みが見えてきました。

私達は多胎を出産育児した家庭が集まり構成した団体です。他の多胎支援団体（一般社団法人日本多胎支援協会など）に所属する大学教授や専門家からサークル運営に関するアドバイスを頂いたり、講座を受講し、多胎妊娠出産育児に関する基礎知識、月齢により移り変わる多胎の悩みや困難感、傾聴に関する勉強を行いました。そのため、大変すぎて言葉にならない、先の見通しがつかない方に同じ多胎家庭のピアサポーターとして多胎妊娠から育児に関する経験をお伝えしたり、一方的な先入観なく相談者の悩みを傾聴し寄り添うことができます。当事者同士が寄り添う事で、育児が楽しくなったり、生きる力が湧いてくると思います。

そして、さいたま市での長年の活動を活かし、地域の多胎支援情報や、実際に利用したサービスの感想、使い方、多胎育児に役立つ工夫や情報提供、年代を超えた当事者同士の繋がり、地域の専門家との繋がりなどをご紹介できることも最大の強みと考えます。

以上のことから、行政保健師と協働し、当団体が多胎家庭と保健師との繋ぎ役となることで、より深刻な多胎家庭に対する早期の対処が可能となると思います。

*この課題に取り組む団体の思い(熱意・姿勢)はどんなことがありますか？

ふたご、みつご以上の多胎の妊娠、出産、育児は単胎と異なる部分が多く、100に1分娩というマイノリティであり、単胎の妊娠出産育児とかけ離れていることが多いため、正しい情報を得ることが難しく、予期せぬ多胎妊娠に戸惑いや不安を感じ、妊娠期～育児に対するイメージができないまま妊娠期から育児期を過ごし多くの問題を同時に抱える家庭が多い事が現状です。

出産後、母体の回復する間もなくすぐに始まる多胎育児は、常に睡眠不足と戦いながら子供を生かすことだけで精一杯な毎日を送ります。早産で、小さく産まれているため首の座らない期間も長く、二人を同時に抱っこする事ができず外出困難、孤独となり、誰にも相談できず、助けを求める事や情報を得ることができません。また、蓄積した疲労感とストレスにより、精神的に追い詰められ冷静な判断ができず、家族だけの限られた空間の中で虐待や夫婦・家族間のトラブルが発生する事も多く、ママだけでなくパパの産後鬱や上の子と同じように育てられないことへの不安に対する相談も多いです。

多胎家庭の問題の多くは当事者同士だけで解決できず、行政、医療、支援団体などの専門家と、同じ多胎育児の経験をしたピアサポーターとの連携が必要と強く感じています。まずは、根本的な解決策として、妊娠期から正しい情報や地域保健師からの支援情報の提供、いざという時の対応、同じ多胎家庭の経験や工夫を伝える事で家族全員でイメージができ、事前の準備や心構えが可能となります。その上で地域の当事者同士が繋がることで出産後も引き続き当事者にとって必要なサポートが可能となります。

当事業をきっかけに・・・

不安、孤立、産後鬱、鬱による虐待など多くの問題を同時に抱える多胎家庭の減少を目指します。

地域で多胎家庭同士の繋がりにより、地域ならではの情報交換や当事者同士の寄り添いが可能となります。多胎育児経験者である当団体が専門家、支援者との繋ぎ役となる事で多胎家庭の悩みに対し早期の対処が可能となります。

先輩多胎ママがロールモデルとなることで先の見通しができ、自分もいつか笑顔で他の多胎家庭を助ける側に立つ事に希望を持ち相互援助の輪が広がることで、さいたま市で多胎を産み育てられる安心感のある地域を目標としています。

以上のことから、多胎家庭も子供を心から愛おしく思える余裕ができ、育児を楽しみ、子供の健やかな成長に繋がることを願っています。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	さいたま ふたご・みつごサークルPeanutsCLUB
-----	-----------------------------

5	市との協働に期待すること	
*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？（再掲）		
さいたま市保健福祉局 保健所 地域保健支援課		
*この事業における、市との協働の意義、協働の内容はどんなことですか？		
①専門家、多胎家庭、経験者の繋がりによる早期対処 妊娠中はこれから始まる多胎育児を想像できず、準備不足のまま育児が始まり情報不足のことから、困った時に保健師へ相談できる事を知らない家庭が多いため、ファミリー教室で市の保健師の役割を知り、繋がりを持つ事が可能となります。 また、多胎家庭がどのような悩みを持っているか保健師や専門家に知って頂ける機会となります。それにより、市の保健師、専門家と当団体側の双方向から寄り添う事ができます。 ②市民に知ってもらうきっかけ ホームページや市報に掲載していただくことで多胎家庭だけでなく、市民にも当団体の取組みと多胎家庭が持つ困り事に関心を寄せて頂ける機会となります。 ③参加者増加 令和5年度8月の参加者は合計10家庭でした。さいたま市の多胎分娩数は年間約100件のため、オンライン開催を増やすことで更に多くの参加者増加を期待します。 今までは多胎を妊娠中の当事者自ら情報を見つける必要がありましたが、母子健康手帳交付を行う市との協働により多胎を妊娠中の家庭へ直接情報を伝えることが可能となります。 ④今後の行政との事業展開 2年連続で協働で事業に関わらせていただくことで、引き続き協働で事業が展開されることを期待しています。 以上のことから、協働で実施することで、市民全体への周知が可能となることや、団体が独自で事業を実施するよりも参加する市民への信頼性が高まり、参加者が増えることが期待されます。		
*この事業に関して、市と協働するにあたって、どんなことを協力、支援、実現してほしいですか？「 」に具体的に書いてください。		
■市が持つ人的な（ノウハウ等）資源による協力・支援	■市が持つ施設などの資源による協力・支援	
「 母子保健サービスのご案内と妊娠中にできる準備の紹介 」	「 公共施設の優先予約（可能であれば） 」	
「 いざという時に相談できる内容の紹介 」	「 オンラインの際の市のZOOM提供（可能であれば） 」	
「 市の相談窓口（保健師）の紹介 」	「	
「	「	
「	「	
■市が持つ発信力・情報(提供)の資源による協力・支援	■その他	
「 市報・区報の掲載 」	「	
「 妊娠中のご家庭へご案内・チラシ配布 」	「	
「 ホームページでの周知 」	「	
「	「	
「	「	

6 助成終了後の事業展開

*この事業は、マッチングファンド助成終了後（※）にどんな事業展開を考えていますか？

※特に翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。

次年度以降も継続して実施できるような体制を整えます。具体的には、

- ①参加者から参加費を得ること。
- ②関心を持つ市民や企業からの募金を募ること。
- ③行政からの運営費を得るための企画書提案。

そのためには、市民の関心、多胎家庭における信頼性、参加の重要性などを理解していただき成果を出すことで、今後も継続してほしいと思える事業となる事が重要だと感じています。

また、継続的な収入確保、多胎支援事業維持を目的に、ゆるぎない団体となるよう現在、団体の法人化を計画しています。なお、引き続き会員や寄付の増加、SNSや紙媒体などで活動を発信していきます。

多胎支援の目標は、現在市で行っている「母親学級」や「両親学級」のように「多胎版のファミリー教室」と「多胎の集い」を当団体多胎育児経験者と行政が協働で開催することで、多胎家庭に寄添った早期対処ができる妊娠期から出産育児まで切れ目のない多胎支援の実現を目指していきます。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	さいたま ふたご・みつごサークルPeanutsCLUB
-----	-----------------------------

7 事業の詳細な計画	
事業①	「妊娠期からの多胎ファミリー教室」
*事業の計画はどのように考えていますか？ 準備、活動、振り返り等について、体制、実施する時期、どこで、だれが（参加者の属性や人数などを含む）等具体的に何を行うか記入してください。 ※目的を達成するための事業が複数ある場合は、事業②の欄を追加（挿入）してください。	
実施時期	実施内容
令和6年 5月	・当団体及び市によるキックオフミーティング ・日程調整・施設予約 ・チラシ制作・配布物準備 ・イベント詳細打合せ ・配布資料内容修正（支援情報、多胎家庭アンケート準備）
6月	・詳細打合せ（当団体、市の担当区保健師、大学講師） ・チラシ完成、配布、イベントの周知、申込み開始 ・SNSへ情報発信 ・事後アンケート準備 ・講師依頼文送付（大学教授、行政、関係団体など）
7月	・イベント詳細打合せ ・リハーサル（当団体、大学講師） ・1回目ファミリー教室の実施（当団体、市、協力団体、学生ボランティア、日本赤十字看護大学講師）
8月	・振り返り打合せ（当団体）・イベント詳細打合せ ・当団体のSNSにアップ ・1回目の報告書の作成
9月	・詳細打合せ（当団体、市の担当区保健師、大学講師） ・イベントの周知、申込み開始 ・SNSへ情報発信 ・事後アンケート準備 ・講師依頼文送付（大学教授、行政、関係団体など）
10月	・配布物準備 ・イベント詳細打合せ ・リハーサル ・2回目オンラインファミリー教室の実施（当団体、市、協力団体、日本赤十字看護大学講師）
11月	・振り返り打合せ（当団体）・イベント詳細打合せ ・当団体のSNSにアップ ・2回目の報告書の作成
12月	・イベントの周知、申込み開始 ・SNSへ情報発信 ・イベント詳細打合せ（当団体、市の担当区保健師、大学講師） ・事後アンケート準備 ・講師依頼文送付（大学教授、行政、関係団体など）
令和7年 1月	・イベント詳細打合せ
2月	・イベント詳細打合せ・リハーサル（当団体、大学講師）・3回目ファミリー教室の実施（当団体、市、協力団体、学生ボランティア、日本赤十字看護大学講師）
3月	・開催報告・振り返り ・3回目の報告書の作成・次年度打合せ ・報告書提出

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	さいたま ふたご・みつごサークルPeanutsCLUB
-----	-----------------------------

8 事業の実施体制			
* 団体において、事業の実施に関わる人はだれですか？この事業における具体的な役割と併せて記入してください。 ※事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。			
氏名	団体における役職等	この事業における役割	
花俣 美加	代表	総括・外部対応	
		司会・総括	
		オンライン対応・総括	
		会計	
		学生・多胎家庭対応	
		システム管理・総括	
		司会・多胎家庭・行政対応	

9 他団体との連携状況
*この事業は、他団体と連携(※)していますか？またはその見込みはありますか？ ※企業、学校、地域の団体（自治会、PTA等）、NPO、ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、その協力関係を記入してください。 現在は以下の団体より協力を得て実施しています。 日本赤十字看護大学さいたま看護学部（講師、学生ボランティア、ホール貸出、妊婦ジャケット、赤ちゃん人形等の物品貸出） 一般社団法人日本多胎支援協会（アドバイザー、テキスト購入、多胎関連資料提供） 一般社団法人関東多胎ネット（周知等の協力） 今年度も更に多胎支援に関心のある団体と連携をしていきたいと考えています。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<收入>

单位：円

区分		算出根拠	金 額
収入合計 (A)		(a) + (b)	531,060
自己資金額 (a)		①～⑥の合計 (d) と同額	32,700
団体の自己資金	①		7,700
	②		
	③		
費用の徴収	④	500円×50家庭	25,000
	⑤		
	⑥		
助成金交付申請額 (b) (助成金収入・100万円以内)		(c) と同額	498,360

＜支出＞

区分		算出根拠		金額
支出合計（総事業費）（B）		（c）＋（d）		531,060
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 謝金・報酬	（講師2万、発表者5千×3名、アドバイザー5千、人件費（システム管理、ピアサポーター、託児）5千×10名）×2回（会場開催） （講師1.5万、発表者5千×3名、アドバイザー5千、人件費（システム管理、ピアサポーター）3千×5名）×1回（オンライン開催）		230,000
	② 旅費	講師、当日スタッフ@500×20名×2回分 対面ミーティング@400×6名×30回分		92,000
	③ 消耗品費	封筒200枚@2000、宛名ラベル@1000、名札シール、テープ、のり、ペン、ラミネート、クリアファイル等文具類@2000、コピー用紙@800、インク代@3000、参加者用教材冊子1000円×50家庭		58,800
	④ 印刷製本費	A4チラシ600部計3300円、A4送付状200部@2200、A3チラシ300部@7000、A4配布資料300部@36000、A4チラシ500部@4500、カラーコピー代@50×50枚		55,500
	⑤ 役務費（通信運搬費等）	チラシ郵送 @210×30、@120×130、@140×70		31,700
	⑥ 賃借料	日赤ホール会場費19000円		19,000
	⑦ 使用料	当日のWi-Fiレンタル×2回分		8,000
	⑧ 保険料	ボランティア行事保険（28円×60名）×2日分		3,360
	⑨			
	⑩			
助成金充当経費計（c）		①～⑩の合計（b）と同額		498,360
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑪ 賃借料	浦和コミュニティセンター会場費（託児室含む）		5,000
	⑫ 使用料	浦和コミュニティセンター駐車場代 @3800×車2台（搬入物を運ぶために必要）		7,600
	⑬			
	⑭			
	⑮ ZOOM使用料	年契約		20,100
	⑯			
	⑰			
	⑱			
	⑲			
	⑳			
助成対象外経費	事業に附随して必要な経費 （（c）の10％以内）			
	事業に附随して必要な事務局人件費			
自己資金充当経費計（d）		⑪～㉔の合計（a）と同額		32,700

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。

助成金限度額計算書

単位：円

自己資金を3倍にした金額(e) $= (a) \times 3$	
金額(合計)	算出根拠[自己資金の3倍の金額+労力換算額]
98,100	32,700 × 3 倍

労力換算額 (無報酬で事業に参加する市民の労力を金額に換算した金額) (f) $= 1 \sim 10$ の計

金額	算出根拠		
500,500	番号	事業の実施時期・内容 算出根拠[人数×時間×500円]	金額
	1	5月(月4回) ・ イベント打合せ(各3時間)	42,000
		7 人 × 12 時間 × 500 円	
	2	6月(月4回) ・ イベント打合せ(各3時間)	42,000
		7 人 × 12 時間 × 500 円	
	3	7月(月3回) ・ イベント打合せ(各3時間)	31,500
		7 人 × 9 時間 × 500 円	
	4	7月(月2回) ・ リハーサルと当日(各5時間)	35,000
		7 人 × 10 時間 × 500 円	
	5	8月(月3回) ・ 振り返り・イベント打合せ(各3時間)	31,500
		7 人 × 9 時間 × 500 円	
	6	9月(月4回) ・ イベント打合せ(各3時間)	42,000
		7 人 × 12 時間 × 500 円	
	7	10月(月5回) ・ 打合せ3回・リハーサル・当日(各3時間)	52,500
		7 人 × 15 時間 × 500 円	
	8	11月(月4回) ・ 振り返り・イベント打合せ(各3時間)	42,000
		7 人 × 12 時間 × 500 円	
	9	12月(月4回) ・ イベント打合せ(各3時間)	42,000
		7 人 × 12 時間 × 500 円	
	10	1月(月3回) ・ イベント打合せ(各3時間)	31,500
		7 人 × 9 時間 × 500 円	
	11	2月(月3回) ・ イベント打合せ(各3時間)	31,500
		7 人 × 9 時間 × 500 円	
	12	2月(月2回) ・ リハーサル・本番(5時間)	35,000
		7 人 × 10 時間 × 500 円	
	13	3月(月4回) ・ 振り返り・次年度打合せ(各3時間)	42,000
		7 人 × 12 時間 × 500 円	

助成金限度額(Z) $= (e) + (f)$	
金額(合計)	算出根拠[自己資金を3倍にした金額+労力換算額]
598,600	98,100 + 500,500

助成金交付申請額(b)	≤	(Z) 助成金限度額
498,360 円	≤	598,600 円

※助成金の限度額は、1,000,000円です。

無報酬で事業に参加する市民の誓約シート

事業の実施時期・ 内容の番号	氏名 注 署名によらない場合は押印してください	住所
1～13		
1～13		
1～13		
1～13		
1～13		
1～13		
1～13		
1～13		
1～13		

- * **助成金限度額計算書（別紙2の2）**で記入した「**事業の実施時期・内容**」の番号に合わせて、無報酬で事業に参加する方の氏名・住所を記入してください。
- * 応募申請書および交付申請書に添付する際は、押印の必要はありません。事業終了後、実績報告書に添付する際には、氏名欄に自署または記名押印をしたものの写しを提出してください。
- * 記入欄が不足する場合には、当誓約シート（別紙2の3）を追加して御記入ください。

☐この誓約シートは写しであり、原本と相違ありません。

令和 年 月 日 代表者署名または記名押印

※実績報告書に添付する際はチェックを入れてください。応募申請書および交付申請書に添付する際は不要です。

団体概要

(ふりがな)		さいたま ふたご・みつごサークル ピーナッツクラブ																							
団体名		さいたま ふたご・みつごサークルPeanutsCLUB																							
(ふりがな)		はなまた みか																							
代表者		花俣 美加																							
連絡責任者	(ふりがな)																								
	氏名																								
	住所																								
	電話/FAX																								
	E-mail																								
設立年月日		平成 22 年 1 月 1 日																							
団体の目的		本会は、多胎を妊娠中から育児中の家庭が持つ深刻な悩みに対して支援を行い、ハイリスクな妊娠・出産、産後鬱、外出困難、虐待等過酷な多胎家庭の減少と地域の多胎ネットワークづくりに寄与する事を目的とする。																							
会員数		個人会員 7 名 団体会員 0 団体																							
さいたま市内における 主な活動内容		1、「多胎妊娠期からのファミリー教室」開催（年2回） 2、多胎サークル（月1回）情報交換、悩み相談、友達作りを目的 主な会場：さいたま市子供家庭総合センター 3、オンラインサークル（月1～2回）管理入院中や外出困難な方との交流 4、クリスマス会、公園遊びなど親子交流を目的としてイベント開催 5、その他、団体の目的を達成する為の事業																							
団体の財政規模		本年度予算（令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月）																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><収入の部></th> <th colspan="2"><支出の部></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会費収入</td> <td>0 千円</td> <td>事業費</td> <td>339 千円</td> </tr> <tr> <td>寄附収入</td> <td>0 千円</td> <td>管理運営費</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>10 千円</td> <td>その他支出</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>329 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>339 千円</td> <td>計</td> <td>339 千円</td> </tr> </tbody> </table>		<収入の部>		<支出の部>		会費収入	0 千円	事業費	339 千円	寄附収入	0 千円	管理運営費	千円	事業収入	10 千円	その他支出	千円	その他収入	329 千円			計	339 千円
<収入の部>		<支出の部>																							
会費収入	0 千円	事業費	339 千円																						
寄附収入	0 千円	管理運営費	千円																						
事業収入	10 千円	その他支出	千円																						
その他収入	329 千円																								
計	339 千円	計	339 千円																						
		前年度決算（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><収入の部></th> <th colspan="2"><支出の部></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会費収入</td> <td>0 千円</td> <td>事業費</td> <td>323 千円</td> </tr> <tr> <td>寄附収入</td> <td>0 千円</td> <td>管理運営費</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>4 千円</td> <td>その他支出</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>300 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>304 千円</td> <td>計</td> <td>323 千円</td> </tr> </tbody> </table>		<収入の部>		<支出の部>		会費収入	0 千円	事業費	323 千円	寄附収入	0 千円	管理運営費	千円	事業収入	4 千円	その他支出	千円	その他収入	300 千円			計	304 千円
<収入の部>		<支出の部>																							
会費収入	0 千円	事業費	323 千円																						
寄附収入	0 千円	管理運営費	千円																						
事業収入	4 千円	その他支出	千円																						
その他収入	300 千円																								
計	304 千円	計	323 千円																						
添付書類		＊□（四角）に☑（チェック）を入れてください。 ☒ 定款又は会則等 ☒ 正会員の名簿ならびに最新の役員名簿 ☒ 令和5年度の団体の活動予算書 ☒ 直近1事業年度分の活動計算書（収支計算書） ☒ 成年被後見人等に該当しないことを確認した旨の書面（任意団体のみ） ☒ 団体目的等についての確認書（任意団体のみ） ☐ その他（ ）																							